

家庭菜園



南部営農センター 園芸課
営農主幹 桧校 哲也



Q 台風や大雨の対策は、どうしたらいいですか？

A 植え付けた秋冬野菜の苗は土寄せして茎を守ります。そのとき、畝間の土を掘り上げ、排水を良くします。

風が強そうでしたら、不織布や寒冷紗などの被覆資材を畝にべたがけしておきます。苗が動かないように、ややきつく張って杭で押さええます。

収穫できそうな野菜があれば、早めに取ってしまいます。

また、台風後の処置が大事です。水たまりがあつたら、溝を切って排水します。

傾いた苗は起こして土寄せします。崩れた畝も直します。

傷ついた株は、取り除きます。病気の発生源になりかねません。

雨で汚れたり湿つたりした野菜には、病気(カビ)が発生します。殺菌剤を散布して予防しましょう。

近ごろ、大雨の被害が各地で発生しています。海拔ゼロメートルの

この地方も備えを怠ってはいけません。ところで、木曽三川公園に隣接して建つ治水神社にお参りしたことはありますか。

江戸時代の宝暦三年、徳川幕府は、度重なる水害を防ごうと、薩摩藩に木曽三川の分流工事を命じました。

幕府の命令ではあつたのですが、「美濃も薩摩も同じ日本である。幕府の無理難題と思えば腹が立つが、同胞の難儀を救うのは人間の本分である。」と、家老の平田鞆負(ひらたゆきえ)は工事を引き受けます。

宝暦治水御手伝普請と呼ばれますが、およそ千人の藩士たちが故郷を離れ普請に就きます。85名の犠牲者を出す難工事でした。外様大名である薩摩藩の財政は、ひつ迫します。総奉行である平田鞆負は、完成後に責任を取って割腹します。

平田鞆負を祭神に薩摩義士を祀つて建てられたのが治水神社です。神社の奥に宝暦治水観音堂があり、義士の位牌が納められてい

オンライン
農業塾は
コチラ



管内の
病害虫情報は
コチラ



家庭菜園
情報は
コチラ



千本松原:揖斐川と長良川の背割堤に植えられた松並木(海津市ホームページ)

ます。
毎年、春と秋に義士の遺徳を偲び慰霊祭が開かれます。鹿児島からも多くの人々が参拝します。今年の例祭は10月25日、日曜日ですので、お参りしようかなと思っています。